

# God With Us

## Part 4: The Life and Writings of Solomon

Direction and Drift - Proverbs

### Message 7— Wisdom & Folly: Words

Proverbs 10-31

神は我らと共に

パート4： ソロモンの生涯と執筆

方向とさ迷い — 箴言

第七メッセージ — 知恵と愚かさ：ことば

箴言10-31章

#### はじめに

古いことわざに「棒と石で骨を痛められることがあるかもしれないが、言葉に私を傷つけられることはない。」とあるが、箴言の教えはそのことわざと異なる。逆に、死と生とは舌に支配される…（箴言18：21）箴言の中に、舌の力を話題に扱っている箇所が90以上ある。神の目には、舌の使い方がそれ程重要であるということである。主が忌み嫌われる事柄の7つの内、3つは舌に関連する：主の憎まれるものが六つある、否、その心に、忌みきらわれるものが七つある。すなわち、高ぶる目、偽りを言う舌、罪なき人の血を流す手、悪しき計りごとをめぐらす心、すみやかに悪に走る足、偽りをのべる証人、また兄弟のうちに争いをおこす人がこれである。（箴言6：16-19）舌の力に重点を重要視している箇所は、新約聖書においても、イエス様と使徒作家の両者によって何度も繰り返されている（参照例：ヤコブの手紙3：1-12）。結局のところ、舌は善の内にも悪の内にも、大きな影響力を持っているが、事実、舌はまさに心の声である。「まむしの子らよ。あなたがたは悪い者であるのに、どうして良いことを語る事ができようか。おおよそ、心からあふれることを、口が語るものである。（マタイの福音書12：34）私たちが用いる言葉は私た

ちの心と互いへの愛を示す最も重要な表示板である。それは箴言と聖書全体を通しての奥深いメッセージである：『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。これがいちばん大切な、第一のいましめである。第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』

（マタイの福音書22：34-40、ローマ人への手紙13：8-10）、また、ことばは、私たちがどれ程真剣にその二つの黄金ルールを追求しているかを明らかにする。

箴言は、知恵ある言葉と愚かな言葉の両方について、多く述べている。以下は、舌を用いる6つの対照的な方法である。

#### 1. 勇気づける言葉：破壊するのではなく、築き上げる。

箴言は、ことばは人に大きな影響を与えるということを明らかにしている。ことばによって人を勇気づけることも、落胆させることも出来る。

正しい者のくちびるは多くの人を養い・・・（箴言10：21a）

正しい者のくちびるは喜ばるべきことをわきまえ・・・（10：32a）

心のねじけた者は、卑しめられる。（箴言12：18b）

心に憂いがあればその人をかがませる、しかし親切な言葉はその人を喜ばせる。（箴言12：25）

こちよ言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだを健やかにする。（箴言16：24）

英語の“encourage（勇気づける）”という言葉は文字通り“breath courage into）” another person（人に「勇気を吹き込む」。）という意味である。言葉には、そのような影響力がある。一方、賢明でない言葉は、人を「落胆」させ、人から「勇気を抜き取り」、心を失わせる。

つるぎをもって刺すように・・・（箴言12：18a）

不信心な者はその口をもって隣り人を滅ぼす…（箴言 11 : 9 a）  
悪しき者の言葉は、人の血を流そうとうかがう、正しい人の口は人を救う。（箴言 12 : 6）

心理学者による、正と負の言葉にさらされたときに起こる神経学的／化学的变化の研究の結果、否定的な言葉は、記憶、感情、睡眠、食欲、推論、及び、全体的な幸福感に影響を与える数十のストレス関連ホルモンと神経伝達物質を放出することが解明されている。特に、子供にとっては重大な影響を及ぼす。「否定的な思想を抱くほど、情緒不安定を体験しやすい。しかし、肯定的に考えるように教えることによって、彼らの人生を好転させるとが可能である。」

## 2. 私たちの言葉を測る：多くを語らず、より少なく。

言葉を用いるとき、箴言の知恵は次のように教えている：言葉は少ないほど良い。賢明な人は、多く語り過ぎないように慎重に言葉数を制限する。

言葉を少なくする者は知識のある者、心の冷静な人はさとき人である。（箴言 17 : 27）

知恵婦人によると、多くを語れば語る程、私たちは、言葉によって罪に陥りやすい。

言葉が多ければ、とがを免れない、自分のくちびるを制する者は知恵がある。（箴言 10 : 19）

リビングバイブルは、同じ聖句をより現代的に次のように訳している：“Don't talk so much! You keep putting your foot in your mouth. Be sensible and turn off the flow.”（話しすぎるな！余計な事ばかり言い過ぎである。もっと賢明になり、流れ出る言葉を止めなさい。）

実際、舌を制する人は、例え愚か者であっても賢明な人に思われる。

愚かな者も黙っているときは、知恵ある者と思われ、そのくちびるを閉じている時は、さとき者と思われる。（箴言 17 : 28）

自分が話し過ぎているかどうかは、どのように見極めればよいのでしょうか？周囲の人々に尋ねてみましょう。誰かに愛情をもって指摘してもらふ必要のあるあなたの盲点であるかもしれません。良い見極め方は、次のことを自問して見ることです：会話が終わったとき、相手の話が検討され、理解され、知られているように感じているのでしょうか？もし、あなたの会話が、常にあなたの身の回りの出来事、あなたの問題、あなたの家族、あなたの意見ばかり行ったり来たりしてるようであるなら・・・口数を減らし、もっと聞き手に回るべきである。話し過ぎるということは、周りを上手く愛することが実行出来ていないということである。心から相手を聞くことを学び、口数を減らすとき、より健全で生産的な人間関係を築けるようになるでしょう。

## 3. 言葉を発する前に、考える： 急がず、思慮深く。

誰でも、言葉が不注意に口から滑り落ちた後で、ひどい後悔の念を味わったことがあるでしょう：「しまった！言うべきではなかった。」急いで飛び出す言葉は、危険な言葉である。したがって知恵婦人は感情ではなく、心によって舌を支配するべきであると教えている。

正しい者の心は答えるべきことを考える、悪しき者の口は悪を吐き出す。（箴言 15 : 28）

人は口から出る好ましい答によって喜びを得る、時にかなった言葉は、いかにも良いものだ。（箴言 15 : 23）

口と舌とを守る者はその魂を守って、悩みにあわせない。（箴言 21 : 23）

思いやりのある、思慮深い言葉は賢明である。対照的に、軽率で衝動的な発言は、愚か者以下である！

言葉の軽率な人を見るか、彼よりもかえって愚かな者のほうに望みがある。（箴言 29 : 20）

言葉を発する前に、十分考慮する時間をとることなく発言を急いでしまった時のことを思い出すことが出来るでしょうか？または、感情が先走り、論理性を失わせ、間違った方法で言葉を発してしまったことは無かったですか？（もしかしたら、誰かに、衝動的言動を吐いてしまったことを謝り、赦してもらう必要があるかもしれません。）あなたの頬に想像上の「一時停止ボタン」を描いてください。そして、人差し指でそのボタンを押してください。今後、言葉を吹き飛ばしそうになったとき、そのボタンを押してください。（傍からは、ただ人差し指を頬にあてているようにしか映りません。）その「一時停止ボタン」を押している間に、あなたの応答を熟考しましょう。まず、「今、あなたが言ったことに、どのように応答するか考える時間が必要です。数分処理する時間をいただけますか？」等と言ってもいいかもしれません。新しい習慣を身につけるためには時間を要します。しかし、この方法を練習していくにつれて、軽率で感情に制される言葉は、少しずつ、落ち着いた、思考によって制された言葉へと置き換えられていくことに気づくでしょう。それこそが賢明な下の使い方である。

#### 4. 話す前にまず聞く： 反応せずに聞く。

上記（話す前に考える）の延長で、聞き上手になれば賢明な言葉へと繋がる。昔から言われているように：神が耳を二つ、口を一つ与えてくださったことにはちゃんとした理由がある！

事をよく聞かないで答える者は、愚かであって恥をこうむる。  
（箴言 18 : 13）

愚かな者は悟ることを喜ばず、ただ自分の意見を言い表わすことを喜ぶ。（箴言 18 : 2）

ヤコブは、次のように教えている：愛する兄弟たちよ。このことを知っておきなさい。人はすべて、聞くに早く、語るにおそく、怒るにおそくあるべきである。（ヤコブ 1 : 19）夫婦間の最大の訴えは、配偶者がよく聞いてくれないという悩みである。相手の言い分の最初の部分だけを聞いて、最後まで聞くことなく、こちらの言い分を考え始める。オークポイント教会の“リスニング・ウェル”のコースでは、私たちがより上手に聞くスキルを学ぶことを助けることを目的としている。人の話を聞くスキルを上達させる必要はないでしょうか？人の話を上手に聞く技を学んだ人と思考や気持ちを口頭で処理することが出来るということは素晴らしい体験である。実際、人の話を上手に聞くことは、人を上手に愛することそのものである。

#### 5. 声の調子： 荒々しくでなく、穏やかに。

賢明な人は、何時、何を、どれくらい話すかにとどまらず、どのように話すかということにも慎重である。賢明なことばは穏やかなことばである。語ることばに伴う声色と顔の表情は良くも悪くもその影響を拡大する。

柔かい答は憤りをとどめ、激しい言葉は怒りをひきおこす。  
（箴言 15 : 1）

優しい舌は命の木である、乱暴な言葉は魂を傷つける。  
（箴言 15 : 4）

こことよい言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだを健やかにする。（箴言 16 : 24）

ことばに関して言うと、怒りは舌を支配することを許すことが可能な致命的な感情である。

愚かな者は怒りをことごとく表わし、知恵ある者は静かにこれをおさえる。（箴言 29 : 11）

憤りやすい者は争いをおこし、怒りをおそくする者は争いをとどめる。（箴言15：18）

怒りをおそくする者は大いなる悟りがあり、気の短い者は愚かさをあらわす。（箴言14：29）

このことは、ヤコブの言う、舌と怒りの間に強い関係を持つ理由を説明している。愛する兄弟たちよ。このことを知っておきなさい。人はすべて、聞くに早く、語るにおそく、怒るにおそくあるべきである。人の怒りは、神の義を全うするものではないからである。（ヤコブ1：19，20）

舌を支配するとき、自己認識が重要です。あなたの存在の表面下に存在する感情を意識して生きることを学ばなければならない。悲しみ、恐れ、怒り、悲痛などの感情は瞬時にこみ上げ、舌に害を与える行動へと追いやる可能性がある。ヤコブは次のように言っている：“ごく小さな火でも、非常に大きな森を燃やすではないか（ヤコブ3：5）！” 私たちが自分自身の深い感情を意識する時、舌の一時停止ボタンを押し、感情を神の御前で処理する作業に時間を費やし、聖霊様に光を照らしていただいて後ろ向きな感情を癒していただくことが可能となる。さらなる問題は、過去の怒りによって傷ついた人々に対して 厳しい言葉を話すということと関係している。私たちが本当に愛することを真に求めているのであれば、他人の怒りに対する感受性を認識し、それに応じて声を守り、保たなければならない。過去の怒りによって傷ついている人は、「強い言葉」も「怒りの言葉」と感じられるため、心を閉じてしまったり、防御的になってしまう。

#### 6. 正直な言葉： 偽りではなく、真実を。

主の忌みきらわれる七つの事柄のうちの一つは、偽りを言う舌である（6：16－19）。対照的に、賢明な人は舌を用いて真実を語る。

真実を言うくちびるは、いつまでも保つ、偽りを言う舌は、ただ、まばたきの間だけである。（箴言12：19）

正しい答をする者は、くちびるに、口づけするのである。（箴言24：26）

偽りを言うくちびるは主に憎まれ、真実を行う者は彼に喜ばれる。（箴言12：22）

一般的に、偽りを言うことは愚かであると同時に、箴言は、三つの特定の嘘（噂話とお世辞と中傷）について忠告している。

噂話とは、直接本人に言えないことを陰で話す行為である。箴言は、噂話について多く語っている。

人のよしあしを言いあるく者は秘密をもらす、心の忠信なる者は事を隠す。（箴言11：13）

偽る者は争いを起し、つげ口する者は親しい友を離れさせる。（箴言16：28）

愛を追い求める人は人のあやまちをゆるす、人のことを言いふらす者は友を離れさせる。（箴言17：9）

歩きまわって人のよしあしをいう者は秘密をもらす、くちびるを開いて歩く者と交わってはならない。（箴言20：19）

たきぎがなければ火は消え、人のよしあしを言う者がなければ争いはやむ。（箴言26：20）

人のよしあしをいう者の言葉はおいしい食物のようで、腹の奥にしみこむ。（箴言18：8）

人のよしあしをいう者の言葉はおいしい食物のようで、腹の奥にしみこむ。（箴言26：22）

注意：最後の二つの参照（18：8と26：22）は、私たちが噂話好きの舌に喜んで耳を貸すことについて警告している。噂話

は美味しいお菓子の様なものである。それらを口にしてはならないのです。

本人に直接話すことを恐れることは噂話へとなりかねない。人を恐れると、わなに陥る、主に信頼する者は安らかである。(箴言 29 : 25)。誰かに言いたいことがある時は、直接本人に愛情を持って真実を話すようにイエス様は言っておられる(マタイの福音書 18 : 15)。誰かの背後でその人について否定的に話すとき、私たちは重大な罪を犯すことになる。真の疑問：私たちは誰を恐れているのでしょうか？困難な会話を避けさせる要因は何でしょうか？何を守ろうとしているのでしょうか？困難な問題について、直接本人と話すことに対する恐れの本根にたどり着くためには、深刻な自己検査を試みる必要があるかもしれません。恐怖に基づく嘘話を根絶し、信仰に基づく真理に置き換えることで困難な状況をもっと率直で正直に処理することができるようになるための癒しの祈りが必要であるかもしれません。

お世辞も別の形の偽りである。お世辞とは、本人のいないところでは決して言わないことを本人に言うことである。

偽りの舌は自分が傷つけた者を憎み、へつらう口は滅びをきたらせる。(箴言 26 : 28)

人を戒める者は舌をもってへつらう者よりも、大いなる感謝をうける。(箴言 28 : 23)

その隣りにへつらう者は、彼の足の前に網を張る。(箴言 29 : 5)

中傷は、箴言の不正直の三番目のカテゴリーに入る。中傷的な言葉は、他人の評判を不当に破壊しようとする。

隣り人を侮る者は知恵がない、さとき人は口をつぐむ。(箴言 11 : 12)

隣りに敵して偽りのあかしを立てる人は、こん棒、つるぎ、または鋭い矢のようだ。(箴言 25 : 18)

### 最終的思考：言葉と愛

言葉は心から流れ出し、愛、または憎しみを反映する。

日常用いている言葉に関する聖書の教えを単純に要約すると次のようになる。言葉は、神と人を愛するための最も一般的な方法である。「わたしたちは、この舌で父なる主を賛美し、またその同じ舌で、神にかたどって造られた人間をのろっている。同じ口から、賛美とのろいとが出て来る。わたしの兄弟たちよ。このような事は、あるべきでない。(ヤコブ 3 : 9, 10)」したがって、舌を整えるための鍵は、口の中ではなく心の中にある。

真の疑問：私の心の状態はいかかなものであろうか？心には2つの重要な問題があり、常に検査する必要があると私は信じている。1) 私の霊的心の状態はいかかなものであろうか？イエス様との交わりの内に生きているであろうか？私は「イエス様に繋がっている」であろうか(ヨハネ 15 : 1-10)？聖霊様に心の内で支配していただいているであろうか(ガラテヤ 5 : 16-25)？イエス様との日々の歩みが、私たちの口から出て、神と人の耳に流れるものを大幅に左右する。2) 私の感情的状態はいかかなものであろうか？自己を認識し、検査を経た人生を生きているのでしょうか？穏やかで思いやりのある言葉で反応する代わりに、人の厳しい言葉に反応してしまふ、過去の傷や嘘や引き金となる事柄を対処しているのでしょうか？私を防御的にする恐れや、人を避けて噂話へと動かす恐怖を対処しているのでしょうか？全ての会話の中心

になろうとしてしまう、「自分は価値がない」と思い込む心の傷を癒すよう神に求めているのでしょうか？

箴言において、舌に関する教えは最も重要な題材である。**油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。（箴言4：23）**

### 教室での忘れられない経験

ある日、先生が生徒たちに、クラスメイトの名前のリストを二ページの用紙に記すよう指示し、それぞれの生徒について言うことが可能である最も素敵なことを書き記すよう指示した。その作業を終えるために、残りの時間いっぱい要し、生徒たちは教室から出て行く前に提出した。その週の土曜日、先生は別の用紙にそれぞれの生徒の名前を記し、他の生徒がその生徒について述べたコメントを全て清書した。月曜に、それぞれの生徒が先生の清書を受け取った。

間もなく、クラス全体に笑みが浮かんだ。「本当？」とささやく声がした。「私が誰かに何かを意味していたなんて知らなかったわ！」とか、「私のことをそんなに気に入ってくれていたなんて知らなかったわ！」と言ったコメントが殆どであった。

それ以来、そのレポートについて口にする者はいなかった。そのレポートがクラスメイト同志、または親との話題になったかどうかについては、先生が耳にすることは無かったが、そのことについて、先生にとっては問題ではなかった。プロジェクトの目的は達成したからであった。それぞれの生徒たちは、自分とクラスメイトに幸福感を覚え、その教室の顔ぶれは進級していった。

何年か後、そのクラスメイトの一員がベトナム戦争で戦死し、受け持ちであった先生がお葬式に参列した。教会はその生徒の家族と友達で一杯であった。

マークの父親が「先生に見せたいものがある。」とポケットからマークの財布を取り出しながら言った。「マークが死んだとき、これを身に着けていました。先生は見覚えがあるのではないかと思って。」お札入れを開いた父親は、慎重に用紙を取り出した。それらは明らかに、何度も何度も開いてはまた折り畳まれた様子で、セロハンテープで補強もされていた。先生は、中を見なくても、それがクラスメイトがマークについてについて言った全ての良いことをリストアップしたレポートであることが直ぐ分かった。「先生、ありがとうございました。」とマークの母親が言った。「見た通り、マークにとってこの紙は宝物でした。」

マークのクラスの同窓生が周囲に集まって来た。チャーリーが微笑みながら「僕も、家の机の一番上の引き出しの中に、大事に保管しているんだ。」言った。別の生徒の妻は「夫から、結婚式のアルバムの中に入れるように頼まれたわ。」と言った。マリリンも「私も、日記帳に挟んであるの。」と言った。また別のクラスメイトのヴィッキーは、ハンドバックの中から財布を取り出し、擦り切れてくたくたになった紙を取り出して仲間に見せながら「私は、どこへ行く時も身に着けているの。」と言った。まばたきする間もなく、続けた「みんな大切に保管していると思うわ！」